

第2回日進市福社会館運営協議会次第

1 議題

- (1) 令和2年度（4月～12月）各福社会館利用状況について
 - ・福社会館6館利用状況一覧表 資料No.1-1
（令和元年度・令和2年度 4月～12月）比較
 - ・各福社会館事業状況一覧 資料No.1-2

- (2) 令和2年度 予算・改善・見直し 資料No.2-1
東部・南部・西部福社会館入浴事業方針 資料No.2-2

- (3) 令和3年度事業計画(案)について 資料No.3

- (4) その他 資料No.4
民間デイサービス施設での運営状況について

第2回日進市福祉会館運営協議会まとめ

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策により6福祉会館を5月末まで休館し、6月から個人利用（囲碁・将棋）と団体利用のみ再開しました。

またコミュニティサロン、おたっしやハウス、親子教室、児童館行事については6月末まで中止とし、その間に再開の準備を進め、7月におたっしやハウスと児童館行事を再開しましたが、愛知県の緊急事態宣言を受け、再度8月13日から24日まで休館しました。9月は各事業の安全を再確認する期間とし、10月から事業を再開しました。しかしながら、お兄さん・お姉さんといっしょに遊ぼう（大学交流事業）は、学生や参加者の感染リスクから中止としました。また毎年100名以上が参加する子どもまつり、もちつき会についても、3密になることから中止としました。

資料No.1-1

新型コロナウイルス感染予防のため会館を休館し、事業を中止したため、開館日数利用人員が減少した箇所を黄色でマーカーしてあります。

資料No.1-2

新型コロナウイルス感染予防により、多くの事業を中止することとなりました。新型コロナウイルスにより影響した箇所については、黄色でマーカーしてあります。

資料No.2-1

新型コロナウイルス感染予防により休館しましたが、施設の維持、再開後の行事運営に向け、改善・見直しを行いました。

資料No.2-2

東部・南部・西部福祉会館入浴事業（お風呂サービス）方針詳細です。方針では、老朽化した東部、南部について3月31日をもって終了します。

資料No.3

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染予防から事業を計画的に遂行することができていません。令和3年度についても、新型コロナウイルスの影響から事業を計画的に遂行できない可能性はございますが、コロナウイルスが終息し、これまでの日常生活に戻る可能性を考え、次の事業を計画しています。

資料No.4

令和2年度第1回日進市福祉会館運営協議会において委員よりご意見をいただきました、市内の民間デイサービス施設での運営状況につきまして、8月に市内12施設を調査した結果です。

福祉会館6館利用状況一覧表（令和元年度・令和2年度 4月～12月）比較

		東部福祉会館		比 較	南部福祉会館		比 較
		元年度	2年度	2年－元年	元年度	2年度	2年－元年
平日・土曜	開館日数(日)	218	163	-55	218	163	-55
	利用人数(人)	13,070	3,918	-9,152	13,662	3,950	-9,712
	内 訳	老人福祉センター	2,907	-5,353	6,047	1,234	-4,813
		児童館	511	-3,529	6,162	1,758	-4,404
		その他	500	-270	1,453	958	-495
	一日平均	60.0	24.0	-36	62.7	24.2	-38
夜間	開館日数(日)	37	29	-8	37	26	-11
	利用人数(人)	285	4	-281	840	93	-747
日 祝	開館日数(日)						
	利用人数(人)						
合計(利用人数)		13,355	3,922	-9,433	14,502	4,043	-10,459

		相野山福祉会館		比 較	岩崎台・香久山福祉会館		比 較
		元年度	2年度	2年－元年	元年度	2年度	2年－元年
平日・土曜	開館日数(日)	207	163	-44	218	163	-55
	利用人数(人)	19,701	8,105	-11,596	34,226	12,948	-21,278
	内 訳	老人福祉センター	2,265	-2,566	6,149	2,581	-3,568
		児童館	1,946	-5,285	12,759	3,480	-9,279
		その他	3,894	-3,745	15,318	6,887	-8,431
	一日平均	95.2	49.7	-45	157.0	79.4	-78
夜間	開館日数(日)	28	25	-3	73	57	-16
	利用人数(人)	267	60	-207	4,497	1,959	-2,538
日 祝	開館日数(日)	36	28	-8	45	32	-13
	利用人数(人)	1,971	828	-1,143	6,955	2,714	-4,241
合計(利用人数)		21,939	8,993	-12,946	45,678	17,621	-28,057

(元年度は空調機器の工事のため
休館しています)

		北部福祉会館		比 較	西部福祉会館		比 較
		元年度	2年度	2年－元年	元年度	2年度	2年－元年
平日・土曜	開館日数(日)	218	163	-55	218	163	-55
	利用人数(人)	32,111	12,750	-19,361	29,320	11,214	-18,106
	内 訳	老人福祉センター	2,190	-2,561	4,777	995	-3,782
		児童館	3,392	-6,786	12,938	4,712	-8,226
		その他	7,168	-10,014	11,605	5,507	-6,098
	一日平均	147.3	78.2	-69	134.5	68.8	-66
夜間	開館日数(日)	38	27	-11	39	27	-12
	利用人数(人)	1,304	604	-700	1,655	568	-1,087
日 祝	開館日数(日)	38	28	-10	38	28	-10
	利用人数(人)	4,915	2,140	-2,775	3,643	1,680	-1,963
合計(利用人数)		38,330	15,494	-22,836	34,618	13,462	-21,156

		合 計		比 較
		元年度	2年度	2年－元年
平日・土曜	開館日数(日)	218	163	-55
	利用人数(人)	142,090	52,885	-89,205
	内 訳	老人福祉センター	12,172	-22,643
		児童館	15,799	-37,509
		その他	24,914	-29,053
	一日平均	656.6	324.3	-332
夜間	開館日数(日)	42.0	31.8	-10
	利用人数(人)	8,848	3,288	-5,560
日 祝	開館日数(日)	39	29	-10
	利用人数(人)	17,484	7,362	-10,122
合計(利用人数)		168,422	63,535	-104,887

※新型コロナウイルス感染拡大
防止のため、福祉会館全館を、
4月1日から5月31日まで及び
8月13日から8月24日まで休
館しています。

新型コロナで影響の
あった箇所

令和2年12月31日現在

(單位:人)

※令和2年4月1日～5月31日、8月13日～8月24日まで新型コロナウイルス感染予防のため休館

-3-

令和2年度 予算・改善・見直し

1 施設改修

「修繕」10万円以上

- ①岩崎台・香久山福社会館
 - ・児童クラブ棟エアコンドレン修繕
- ②西部福社会館
 - ・駐車場通路修繕
- ③南部福社会館
 - ・トイレ便座換え他工事
- ④相野山福社会館
 - ・電動カーテン修繕工事

「工事」

- 相野山福社会館
 - ・屋上防水改修工事
- 東部、南部、相野山、岩崎台・香久山福社会館
 - ・トイレ改修工事（南部福社会館・手洗い水洗自動化を含む）
（新型コロナウイルス対策事業）

2 予算・改善・見直し

「予算」 福社会館新型コロナ対策事業として、トイレ改修工事の委託料・工事請負費を9月補正で予算要求しました。工事概要はトイレの洋式化（岩・香、相野山）と手洗い水洗自動化（南部）で、年度内に完了する予定です。また東部福社会館につきましては、トイレの全面リニューアル工事として、洋式化だけではなく多目的トイレや乳幼児トイレなども施工するため、3月15日から5月9日まで休館する予定です。

「改善」 ①手指消毒の実施及びマスクの着用
②利用者の館内での食の禁止
③飛沫防止対策（囲碁・将棋）
④利用者への注意喚起
⑤「いっしょにあそぼう」は定員を15名で行っていましたが、定員を10名に減らして実施
⑥親子教室は、会場の広さから1クラスを3クラスに分け、1クラス定員25組を10組以下にて実施
⑦おたっしやハウスは、2部制にするなど人数制限を行い、

定員を従来の2分の1以下にて実施

⑧コミュニティサロンは、バスでの送迎がある為、乗車人員を2分の1にする必要から、グループ分けをして隔週で実施

「見直し」 ①令和3年度より、もちつき会を地域交流事業に変更します。

②設備の老朽化から、東部、南部福社会館のお風呂サービスを3月31日をもって終了します。(別添)

東部・南部・西部福祉会館入浴事業（お風呂サービス）方針詳細

1.経緯

高齢者向け入浴事業（以下「事業」という。）は、東部福祉会館は昭和 55 年 4 月、南部福祉会館は昭和 58 年 4 月より健康増進、家庭に浴室がない者、体力の衰えなどで風呂の準備や掃除等が困難な者、事業参加による憩いの場の提供などを目的として開始した。

事業開始当初は少なからず浴室がない世帯もあることや福祉会館の健康増進、憩いの場としての役割も相まって行政サービスとして活躍の場もあった。

なお、西部福祉会館は平成 21 年 4 月にこれまでのお風呂サービスを継続するだけでなく、有事の際に人的保護等が発生した場合の対応も目的として設置されたものである。

しかしながら、「2. 事業実績」のとおり、近年の利用者（延べ人数）はほぼ横ばいで、利用者が固定されていることが顕著になってきた現状にある。

また、東部福祉会館と南部福祉会館については施設の老朽化もあり、今後更に修繕等が必要になる中での費用対効果の面や過去には入浴中に死亡事故等も発生しており、今後の安全性の確保という面でも見直しが必要な事業である。

2.事業実績

（1）登録人数（令和 2 年 12 月時点）

東部福祉会館・・・15 名 実利用者 4 名 他館重複登録者 3 名

南部福祉会館・・・38 名 実利用者 7 名 他館重複登録者 7 名

西部福祉会館・・・31 名 実利用者 8 名 他館重複登録者 4 名

※実利用者数は月 1 回以上利用している者とする。

（2）利用実績

東部福祉会館 入浴事業実績（平成22年度～平成31年度）						
	開催数／年	利用人数（男）	利用人数（女）	利用人数（全体）	利用人数／回	前年比／人
平成22年度	144	494	650	1144	7.94	
平成23年度	144	429	733	1162	8.07	18
平成24年度	142	319	766	1085	7.64	-77
平成25年度	142	232	779	1011	7.12	-74
平成26年度	122	248	544	792	6.49	-219
平成27年度	49	25	130	155	3.16	-637
平成28年度	48	64	144	208	4.33	53
平成29年度	49	124	102	226	4.61	18
平成30年度	47	99	76	175	3.72	-51
平成31年度	43	67	79	146	3.40	-29
※～平成26年度まで週3日開催、平成27年度以降、週1日開催に変更						
※平成31年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として一時開催中止						

南部福祉会館 入浴事業実績（平成22年度～平成31年度）

	開催数／年	利用人数（男）	利用人数（女）	利用人数（全体）	利用人数／回	前年比／人
平成22年度	144	409	189	598	4.15	
平成23年度	142	395	84	479	3.37	-119
平成24年度	142	377	120	497	3.50	18
平成25年度	143	359	117	476	3.33	-21
平成26年度	121	340	119	459	3.79	-17
平成27年度	42	120	33	153	3.64	-306
平成28年度	46	169	37	206	4.48	53
平成29年度	46	195	73	268	5.83	62
平成30年度	41	165	114	279	6.80	11
平成31年度	35	116	111	227	6.49	-52
※～平成26年度まで週3日開催、平成27年度以降、週1日開催に変更						
※平成31年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として一時開催中止						

西部福祉会館 入浴事業実績（平成22年度～平成31年度）

	開催数／年	利用人数（男）	利用人数（女）	利用人数（全体）	利用人数／回	前年比／人
平成22年度	267	636	109	745	2.79	
平成23年度	292	814	201	1015	3.48	270
平成24年度	293	991	313	1304	4.45	289
平成25年度	291	1013	298	1311	4.51	7
平成26年度	292	656	389	1042	3.57	-269
平成27年度	149	552	375	927	6.22	-115
平成28年度	148	1071	236	1307	8.83	380
平成29年度	148	1138	186	1324	8.95	17
平成30年度	127	873	148	1021	8.04	-303
平成31年度	115	558	208	766	6.66	-255
※～平成26年度まで週5日開催、平成27年度以降、週3日開催に変更						
※平成31年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として一時開催中止						

（3）家庭風呂普及率 95.5% 「総務省統計局（全国）より」

3.まとめ

東部福祉会館、南部福祉会館と西部福祉会館の当初の事業開始の目的に違いはあるものの、事業開始から東部福祉会館は40年、南部福祉会館は37年、西部福祉会館は10年が経過した。その間、住環境の発展により各家庭の浴室保有率が95.5%を超えたことに加え、市内及び名古屋市天白区、長久手市など本市に隣接する銭湯の普及などから、この10年、福祉会館における事業利用者も固定化され、新規の利用者数の増加がほとんどみられないことから当初の事業の目的は果たしていると思われる。

また、お風呂利用者の多くが高齢化に伴い来館することが困難になったものと考えられることや、安全性の確保のためにご遠慮いただいていた1人での利用も増えてきており、浴室内で不慮の事故が発生するリスクが高くなっていることから、利用者の生命を第一と考えた安全な施設管理が必要となる。また、東部福祉会館と南部福祉会館は、施設も老朽

化していることから、修繕に伴う費用が年々増えていくことが見込まれ、費用対効果も含め、この２館については本事業を令和３年３月３１日をもって廃止するものである。

実利用者で東部福祉会館の５割、南部福祉会館の５割が西部福祉会館の利用者と重なり、西部福祉会館では週３日事業を行っていることから、この２館を廃止しても西部福祉会館を利用いただければ支障は少ないものと思われる。現在、新型コロナウイルス感染症予防のため令和２年３月から事業は中止しているが、利用者から再開を求める意見や中止による苦情は受けていない。新型コロナウイルスが終息した場合でも、西部福祉会館に利用者を集約することで効率的な運用は可能と考える。

なお、西部福祉会館については、築１０年程度ということもあり、当分の間は継続することとするが、今後、アフターコロナにあって、福祉会館の役割を再度見直していく中で、入浴事業が当初の役割を終えているという考えや当初の利用目的である災害時等の避難所としての役割なども整理しながら将来的な廃止の時期について引き続き検討して参りたいと考えている。

令和3年度 福社会館事業計画(案)

1 児童館事業

子どもたちが誰でも自由に遊べ、学校や学年の違った子どもたちが一緒に遊んだり、協力して何かを作ったり、大勢でもひとりでも、いろいろなことができるよう取り組みます。

(1) 子どもまつり

子どもまつりを通して住民と参加者相互との交流を深め、地域の子どもたちが、ひとりでも、仲間同士でも、自由に楽しく遊べる施設であることを啓発し、利用者の促進を図ります。

(2) いっしょにあそぼう

調理、工作など、子どもたちの好みや年齢にあった活動を通して、だれもが主人公になって遊び、仲間をつくることができるよう、各館で工夫をこらした事業を開催します。

(3) お兄さんお姉さんといっしょに遊ぼう（大学交流事業）

地域で学ぶ大学生と小学生が、「心の通い合い」を通じて楽しくコミュニケーションを取りながら交流を深め、双方の成長の場となることを期待し、音楽演奏や集団遊び、手遊びなどを開催します。

(4) 地域交流事業

もちつき会に拘らず、年齢や性別を問わず、多くの方に参加いただける内容の行事を開催いたします。

2 子育て支援事業

地域の子育て中の親子の交流促進や、健全な遊びを通して子どもたちの健やかな成長を育む事業を展開し、子育ての孤立感や負担感の軽減ができるよう、児童相談員への橋渡し、連携を図ります。

(1) 親子教室

乳幼児の親子を対象に、遊びを中心とした様々な体験を通して子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、自主性や社会性を身につけられる事業を開催します。

(2) ひよっこひろば

0歳児親子の交流、楽しむ、情報交換の場づくりを行い、自宅に引きこもりがちな親子に福社会館を知ってもらうため、引き続き開催します。（相野山福社会館）

3 老人福祉センター事業

地域で暮らす高齢者のみなさんの健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動を推進します。

(1) コミュニティサロン事業

おおむね65歳以上の高齢者を対象に、ひとり暮らしや家の中で過ごしがちな高齢者が、民生委員・地域住民（ボランティア）とのふれあいを通じて生きがいづくり、仲間づくりの輪を広げ、介護予防や閉じこもりを防止することを目的として開催します。

(2) おたっしゃハウス事業

おおむね65歳以上の高齢者を対象に、ふれあいを通じた生きがいづくりを目的として、介護予防のための軽い体操やカラオケ等で元気（おたっしゃ）に生き生きと過ごしていただけるよう、来館者の要望も多く人気の高いおたっしゃハウスを全6館で引き続き開催します。

(3) 入浴サービス

利用者が相互にふれあい、心身共にリフレッシュできる場を提供するため、高年者に浴場を開放します。（西部福祉会館）

4 時間外開館（夜間）

夜間におけるコミュニティ活動の場として、館内のホールをはじめ、集会室、和室、実習室などを各種講座、サークル活動、会合の場として開放します。

民間デイサービス施設での運営状況について

送迎バス運行状況について

- ・送迎バスの定員の6割ほどの乗車で送迎をしている。
- ・マスクは必ず着用している。
- ・乗車前に検温し、熱がある場合は欠席してもらい、降車後にも検温している。
- ・手指消毒は、乗車前と降車後に行っている。
- ・走行中はエアコンを入れ、前と後ろの窓を開けて換気している。
- ・到着後にドアノブ、シート、ハンドルなどの消毒を行っている。

施設運営状況について

- ・カラオケは中止し、その代わりとして音楽を流している。
- ・体操は密にならないよう人数を減らし、間隔を開けて対面にならないよう、またマスクを着用し行っている。
- ・レクリエーションは、書道・創作等で声の出さないものを、密にならないようグループ分けをし、順番または部屋を分けて行っている。
- ・ボランティアはお断りしている。